

<平成 25 年度の主な事業>

第 6 次小樽市総合計画の「まちづくり 5 つのテーマ」等に基づき本年度実施した主な事業は次のとおりです。

【◎＝新規 ☆＝拡大 (括弧内の金額は予算現額)】

A【まちづくり 5 つのテーマ】

1. 心豊かに学び、地域文化を育むまち（生涯学習）

☆① 音読推進経費 268千円(270千円)

- ・全ての小中学校で取り組んでいる家庭学習での「音読」活動の充実を図り、児童生徒の学力向上を推進
- ・「音読カード」の配布、「音読カップ（発表会）」の開催

☆② 「樽っ子学校サポート」関係経費 101千円(409千円)

- ・児童生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着を目指すため、小樽商科大学に在籍する学生を小中学校へ派遣し学習支援を実施
- ・平成25年度から交通費等支給 500円/回

☆③ 義務教育活動経費(学校図書館整備費) 9,693千円(9,930千円)
小学校4,657千円(4,875千円)、中学校5,036千円(5,055千円)

- ・図書整備のほか、学校図書館活動の活性化と児童生徒の読書習慣の定着及び学力の向上を図るため、小学校1校、中学校1校を学校図書館利活用推進モデル校として指定し、学校図書館司書を各1名配置

☆④ 特別支援教育業務経費 23,778千円(25,396千円)

- ・LD(学習障害)やADHD(注意欠陥・多動性障害)、高機能自閉症などの障害のある児童生徒を支援するため、特別支援教育支援員を平成20年度から配置。配置要望のある学校に対し支援員を配置
- ・平成24年度 20名→平成25年度 22名に増員

⑤ 校舎等の整備 620,162千円(648,269千円)

・校舎等改築事業費 346,250千円(359,210千円)

手宮地区統合小学校 341,210千円(341,210千円)

H25～H26 校舎建設、H27 屋内運動場建設、H28 開校、グラウンド整備

山手地区統合小学校 5,040千円(18,000千円)

H25 基本設計、H26 実施設計、H27 敷地造成、

H28～H29 校舎・屋内運動場建設、H29 グラウンド整備、H30 開校

・校舎等耐震補強等事業費(桜小) 273,912千円(289,059千円)

(事業費は全額平成24年度から繰越)

◎⑥ 新共同調理場運営費 192,222千円(199,694千円)

- ・平成25年8月から、新共同調理場による給食供給開始
- ・給食調理等業務委託、給食輸送業務委託、米飯給食関係委託、光熱水費ほか施設管理経費

⑦ 新共同調理場建設事業費 1,601,163千円(1,729,433千円)

- ・新光・オタモイ両共同調理場を統合し新共同調理場を建設
平成23年度 土地取得、基本設計、実施設計、地質調査
平成24年度 施設建設工事
平成25年度 施設建設工事、供用開始(8月)

☆⑧ 特別展開催経費 8,635千円(8,642千円)

I) 「詩人と美術 瀧口修造のシュルレアリスム展」(文学館・美術館共催)

・開催期間：平成25年5月18日～6月30日

※小樽美術館を含む全国4美術館で共同巡回展を開催

II) 「風景の躍動感 没後30年 中村善策展」

・開催期間：平成25年7月6日～9月16日

III) 「北の水彩画人 白江正夫と宮川美樹」

・開催期間：平成25年10月19日～平成26年1月26日

- ◎⑨ 重要文化財旧日本郵船(株)小樽支店保存整備調査費 14,364千円(14,364千円)
- ・重要文化財旧日本郵船(株)小樽支店の保存整備に向けた事前調査を実施
 - ・調査期間：平成25年度～平成26年度

2. とともに支え合い、安心して健やかに暮らせるまち（市民福祉）

- ① 地域介護・福祉空間整備等交付金 2,000千円(3,000千円)
- ・介護保険事業計画で整備を位置付けた複合型サービスについて、公募により選定した事業者の事業立上げに必要な開設経費を助成
- ② 介護基盤緊急整備特別対策事業交付金 20,000千円(30,000千円)
- ・介護保険事業計画で整備を位置付けた複合型サービスについて、公募により選定した事業者の施設等の整備費を助成
 - ・複合型サービス1か所 20,000千円
- ③ 地域生活支援事業費(成年後見制度利用支援) 19,624千円(23,084千円)
- 一般会計2,288千円(3,802千円)、介護保険事業特別会計17,336千円(19,282千円)
- ・平成22年度から小樽市社会福祉協議会が開設した「小樽・北しりべし成年後見センター」への財政支援と低所得者に対する後见人報酬等を助成
- ☆④ 地域生活支援事業費(相談支援) 37,000千円(37,000千円)
- ・平成24年度の障害者自立支援法改正法施行に伴い、全ての障害児・者に「サービス等利用計画」を作成するなど障害福祉サービス相談等の体制を強化するため、専従の相談支援専門員等を相談支援事業所へ配置
 - ・平成24年度 4か所→平成25年度 6か所へ拡大
- ◎⑤ 地域子育て支援センター事業費(銭函地区) 2,229千円(2,500千円)
- ・銭函保育所に子育て支援担当の保育士を配置し、銭函地区の子育て支援を充実
 - ※これまでは銭函市民センターで週1回ボランティア中心の「ひろば事業」を開催(遊びの紹介や絵本の読み聞かせなど)

- ⑥ 保育所建設事業費 284,658千円(329,380千円)
- ・奥沢保育所 272,240千円(304,000千円)
 - 奥沢保育所(昭和47年建築)の老朽化に伴う改築
 - 平成24年度 基本設計、実施設計、地質調査、測量調査
 - 平成25年度 新園舎工事、外構工事
 - 平成26年度 新園舎供用開始、現園舎解体工事、外構工事
- ・銭函保育所・子育て支援センター 12,418千円(25,380千円)
 - 銭函保育所(昭和43年建築)の老朽化に伴い、子育て支援センターを併設し改築
 - 平成23年度 測量調査
 - 平成25年度 地質調査、基本設計、実施設計
 - 平成26年度 仮設園舎工事、現園舎解体工事、新園舎工事
 - 平成27年度 新園舎供用開始、仮設園舎解体工事、外構工事
- ☆⑦ 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業費 54,303千円(97,504千円)
- ・平成25年度から、下記ワクチンについて法定接種化
 - 子宮頸がん予防ワクチン 小学6年生～高校1年生相当の女子
 - ヒブワクチン 2か月～5才未満の乳幼児
 - 小児用肺炎球菌ワクチン 2か月～5才未満の乳幼児
- ⑧ 新夜間急病センター建設事業費 98,606千円(108,009千円)
- ・済生会小樽病院の移転に伴い、夜間急病センターを移転し新たに建設
 - 平成23年度 土地取得、実施設計、地質調査
 - 平成24年度 旧市立病院看護師宿舍解体、建設工事
 - 平成25年度 建設工事、医療機器等準備、供用開始(7月)

- ⑨ 病院統合新築事業 3,627,783千円(5,233,097千円)
- ・小樽病院と脳・循環器・こころの医療センターを統合し新市立病院を建設
 - 平成22年度 基本設計
 - 平成23年度 実施設計
 - 平成24年度 旧量徳小学校解体、本体工事
 - 平成25年度 本体工事
 - 平成26年度 本体工事、外構工事、新市立病院供用開始、現小樽病院解体、駐車場整備
 - 平成27年度 現小樽病院解体、駐車場整備

- ③ 橋りょう長寿命化修繕計画策定事業費 3,780千円(5,000千円)
- ・市内の橋りょう135橋について修繕及び架け替えの必要性を点検し、計画的な維持管理を実施するための計画を策定（平成24～25年度）

- ④ バリアフリー等住宅改造資金関係 24,724千円(27,320千円)
- ・バリアフリー等住宅改造資金貸付金 23,792千円(26,320千円)
 - 住宅のリフォーム工事や高齢の方、身体に障害のある方のために住宅のバリアフリー等改造工事を行う際に、その工事に要する費用の一部を無利子で融資
 - ・対象工事 バリアフリー工事 上限額200万円
 - リフォーム全般(無落雪、耐震補強を含む) 上限額200万円
 - ・バリアフリー等住宅改造資金負担金 932千円(1,000千円)
 - バリアフリー等住宅改造資金貸付制度に基づく融資の利子補給分

3. 安全で快適な住みよいまち（生活基盤）

- ① 配水管整備、老朽施設等更新改良及び消火栓整備
- 895,556千円(924,065千円)
 - ・配水管整備 390,904千円(409,836千円)
 - 市内一円配水管布設 L=5,924m
 - ・老朽施設等更新改良 503,392千円(512,832千円)
 - 豊倉浄水場中央監視制御設備工事ほか
 - ・消火栓整備 消火栓 1基新設 1,260千円(1,397千円)

- ⑤ 住宅リフォーム助成事業費 19,367千円(21,200千円)
- ・「小樽市住宅リフォーム助成条例」に基づき、住宅リフォームに要する費用の一部を助成し住環境の整備並びに市内産業の活性化を促進
 - ・対象工事 市内建設業者が行う50万円以上の費用を要するリフォーム
 - ・助成金の額 リフォームに要する費用の1/10で上限額20万円
 - (省エネ改修工事費が30万円以上になる場合は上限額30万円)

- ② 汚水管・雨水管整備及びポンプ場・処理場設備の更新
- 1,064,327千円(1,198,718千円)
 - ・汚水管整備 376,196千円(376,196千円)
 - 銭函地区新設(L=179m)、手宮地区更新(L=1,239m)ほか
 - ・雨水管整備 71,454千円(71,454千円)
 - 雨水管新設(勝納第14排水区雨水渠築造工事)
 - ・ポンプ場設備の更新 14,396千円(41,000千円)
 - 高島汚水中継ポンプ場実施設計委託ほか
 - ・処理場設備の更新 602,281千円(710,068千円)
 - 中央下水終末処理場沈砂しきり洗浄棟機械設備更新ほか
 - (処理場設備の更新のうち129,000千円(140,000千円)は平成24年度から繰越)
 - (処理場設備の更新の予算現額のうち70,000千円は平成26年度へ繰越)

- ※バリアフリー等住宅改造資金貸付金との重複申請はできない
- ⑥ 臨時市道整備事業費 392,900千円(400,000千円)
- ・市民生活の安全及び円滑な交通を確保するため、道路改良を実施
 - ・平成25年度整備実施 33路線
- ⑦ ロードヒーティング更新関係 124,315千円(144,800千円)
- ◎ロードヒーティングシステム更新事業費 2,226千円(2,500千円)
- ・市内231か所のロードヒーティングの運転状況や制御を行う中央監視システムの老朽化に伴う更新

- ・ロードヒーティング更新事業費 122,089千円(142,300千円)
 - ・老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新
 - ・梅源線 361m、最上山手線 39m
- ⑧ 銭函地区河川防災事業費 63,679千円(68,000千円)
 - ・大雨等による銭函地区の浸水被害防止のため、緩勾配河川に溜まった土砂を取り除き河川の機能回復を図る防災事業を計画的に実施
 - ・対象河川：ポンナイ川、旧星置川、谷地川、銭函石山沢川、銭函川
- ⑨ 旧国鉄手宮線整備事業費 86,975千円(88,200千円)
 - ・平成21年度に策定された旧国鉄手宮線の活用計画に基づき、観光客の回遊性の向上や時間消費型観光の促進のため、中心市街地の新たな観光資源として旧国鉄手宮線を整備
 - 平成22年度 「旧色内駅ステーション」整備
 - 平成24年度 旧手宮線用地取得、測量設計
 - 平成25～27年度 散策路・広場整備（中央通～総合博物館）
 （事業費のうち56,212千円(56,700千円)は平成24年度から繰越）
- ⑩ 市営住宅改善事業費 460,343千円(478,345千円)
 - ・「小樽市公共賃貸住宅長寿命化計画」に基づき、老朽化した市営住宅を計画的に改修
 - ・若竹住宅1号棟耐震補強・リモデル工事（H24～H25）
 - ・長寿命化改善事業 (1)新光B住宅55・56棟:屋根・外壁等改修
(2)塩谷D住宅、新光B住宅54棟:屋根・外壁等改修
(長寿命化改善事業のうち(2)83,817千円(88,280千円)は平成24年度から繰越)
- ◎⑪ 後志地域生活交通確保対策事業費補助金 454千円(454千円)
 - ・利用者の減少等により、国及び北海道の補助を受けて運行している北海道中央バス(株)の積丹線（小樽⇄積丹）について、生活路線の維持のため、収支不足額の一部を地元市町（小樽市、余市町、古平町、積丹町）で負担

- ⑫ 防災関係経費 10,140千円(13,087千円)
 - ◎防災訓練支援事業 917千円(1,000千円)
 - 各町会等での避難訓練の実施を促進するとともに、地域住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るため津波浸水想定映像DVDを作成し、訓練時に市職員による研修を実施するほか資料提供などの支援を実施
 - ◎避難支援事業 1,850千円(3,190千円)
 - ・津波注意喚起標識板の設置
 - 住民、観光客等の迅速で的確な避難を図るため、3年計画で津波浸水想定区域を有する沿岸部に「津波注意喚起標識板」及び「海拔表示板」を設置し、津波避難誘導を実施（平成25年度は「津波注意喚起標識板」を港湾地区16か所に設置）
 - ・防災ラジオの配布
 - 迅速な避難行動を図るため、緊急地震速報や津波警報等を自動受信する防災ラジオを保育所、町会、自治会などに配布(町会151台、自治会20台、市立保育所6台、計177台)
 - ・避難所機能強化事業 7,373千円(8,897千円)
 - 災害発生時の避難所（69か所）受入体制強化のため、計画的に非常用食糧や防寒対策用品等を配備
 - ◎⑬ 福祉避難所機能確保促進事業費 2,441千円(2,500千円)
 - ・一般的な避難所では生活に支障を来す高齢者や障害者などの災害時要援護者のため、市内9か所の福祉施設と協定を結び「福祉避難所」として指定し、災害時に安心して生活できる体制を構築
 - ・災害用間仕切りを250セット購入

- ◎⑭ 原子力防災関係事業費 2,133千円(2,214千円)
- 原子力防災活動に必要な資機材等を整備
 - サーベイメーター(放射線量測定器)のほか、全国瞬時警報システム(Jアラート)を自動起動させ、災害情報を指定避難所等へ伝達するシステムなど
- ◎⑮ 救助資機(器)材の増強整備事業費 3,479千円(3,479千円)
- 潜水を伴う水難救助活動を安全・迅速に行うため、水中無線を導入
- ⑯ 消防救急無線デジタル化事業費 7,770千円(85,828千円)
- 平成28年5月末の消防救急無線のデジタル化移行に対応するため、4か年で施設整備
 - 平成24年度 基本設計
 - 平成25年度 実施設計
 - 平成26年度 システム整備(赤岩基地局局舎・鉄塔の建設ほか)
 - 平成27年度 システム整備(赤岩、銭函、消防本部基地局無線装置の整備ほか)、デジタル無線運用開始
 - 平成28年度 アナログ無線施設撤去
(予算現額のうち78,058千円は平成26年度に繰越)
- ⑰ 高機能消防指令センター整備事業費 11,634千円(13,000千円)
- 平成9年に整備したシステムを更新し、消防救急無線のデジタル化に対応する高機能消防指令センターを3か年で導入整備
 - 平成23年度 実施設計
 - 平成24年度 消防本部指令室改修工事、高機能消防指令センター機器導入等
 - 平成25年度 旧通信指令室改修工事等
- ◎⑱ 機動力増強・近代化事業費 64,122千円(66,118千円)
- 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(5t)の導入

4. 人・もの・情報が交流する活力あるにぎわいのまち（産業振興）

- ① 道直轄工事費負担金 16,431千円(19,670千円)
- 塩谷地区水産環境整備事業 6,299千円(9,538千円)
 - 塩谷地区(文庫歌)の水質保全及び良質な漁場環境への改善を図るため、海岸土砂崩落防止工事を実施(平成23～26年度)
 - 平成24年度まで 測量・設計、法切工(4,534㎡)・排土工(4,852㎡)
 - 平成25年度 法切工(2,365㎡)、排土工(1,537㎡)、測量
 - 平成26年度 伏工(植生マット、張芝)、水路工、暗渠工ほか
 - ※平成25年度事業費62,985千円(うち市負担 10/100=6,299千円)
 - 忍路漁港整備事業 8,800千円(8,800千円)
 - 係船用の岸壁及び用地不足を解消するため、西防波堤・西護岸・船揚場等の整備を実施(平成23～26年度)
 - 平成24年度まで 測量・設計、西護岸(10.0m)、物揚場(35.7m)ほか
 - 平成25年度 西防波堤(10.0m)、西護岸(51.2m)、船揚場(20.0m)、しゅんせつ(660㎡)ほか
 - 平成26年度 防波堤等新設工事
 - ※平成25年度事業費110,000千円(うち市負担 8/100=8,800千円)
- ◎祝津漁港整備事業 1,332千円(1,332千円)
- 経年劣化によって破損した漁港施設の維持及び補修を目的に、西護岸・岸壁・船揚場の整備を実施(平成25～27年度)
 - 平成25年度 計画策定(測量調査、設計等)
 - 平成27年度 -3.0m岸壁・船揚場補修
 - ※平成25年度事業費15,000千円
 - 3.0m岸壁・船揚場 10,000千円(うち市負担 8/60=1,332千円)
 - 西護岸 5,000千円(市負担なし)

② 高校生就職スキルアップ支援事業費 1,260千円(1,260千円)
・主に高校1・2年生を対象に、市内企業への定着を図るため、就職活動の実践力向上事業を実施

◎③ 新卒未就職者等の地元定着を目指した地域人材育成事業費 14,971千円(15,000千円)
・新卒未就職者等を定職に就かせ、地元に着定させるため、事業所実習やビジネスマナー研修等により市内企業が求める人材として育成
(対象者) ・平成25年3月末内定で卒業の生徒、学生
・既卒3年以内の未就職者

④ 活力ある商店街づくり推進事業費 7,823千円(8,571千円)
・にぎわう商店街づくり支援事業費 3,600千円(4,093千円)
小樽市商店街振興組合連合会に属する商店街等が、中心市街地活性化に寄与するために独自に企画・実施する活性化事業に助成
助成額：事業費の1/2(限度額600千円)
・商店街活性化支援事業費 1,749千円(2,000千円)
活力ある商店街の形成を図るために商店街を活性化する事業を実施する団体へ助成
助成額：事業費の1/2
事業費1,000千円未満(限度額100千円)、事業費1,000千円以上(限度額200千円)

・空き店舗対策支援事業費 2,474千円(2,478千円)
商業起業者及び既存事業者の経営安定化と空き店舗解消を目的に店舗家賃等の一部を助成
助成額：①起業者 研修費用の2/3(限度額30千円)
家賃の2/3(限度額50千円)×12か月
②既存事業者 家賃の1/2(限度額50千円)×6か月

⑤ 東アジア等販路拡大支援事業費 510千円(3,050千円)
・通関等の費用補助
新たに海外に商品輸出する際の輸出手続等に要する費用を補助
・商談会、展示会等の費用補助
東アジア等への販路拡大を目的とした商談会・展示会等への参加費用を補助

◎⑥ 「小樽産品」販路拡大支援事業費 3,148千円(5,800千円)
・市内企業の販路拡大支援のため、道外の大規模な展示会へ出展するほか、小樽物産展の新規開催などを支援

⑦ 小樽ブランド力推進事業費 6,993千円(6,993千円)
・ブランド力の向上を図るため、顧客ニーズや市場動向等の情報収集を行い、顧客目線を重視した既存商品の磨き直しや新商品開発のコーディネートを継続的な販路確保とともに実施

⑧ 地場産品導入促進事業費 1,947千円(2,100千円)
・地域資源であるガラスの周知と活用の促進を図るため、小学生の卒業記念としてガラス製品の製作体験を行う費用を実行委員会に対し助成

☆⑨ 「小樽市企業立地促進条例」の改正
・企業のニーズを捉えた効果的な優遇制度とするため、本市に進出する企業や既存企業に対する支援制度を拡充
・固定資産税等の課税免除期間を2年から3年に延長(限度額1億5千万円)
・対象要件の緩和(取得価格の軽減)
・既存企業支援のため、工場等の増設や償却資産(機械及び装置)の拡充・更新を新たに追加
・空き工場活用のための支援策を新たに追加

- ☆⑩ 企業立地トップセミナー関連事業費 2,223千円(2,724千円)
 - ・本市への企業立地を促進するため、地方での事業展開を検討中の関西圏企業を対象に、市長によるトップセミナーを大阪で開催。また、平成24年度に東京で開催した企業立地トップセミナーの参加企業を訪問

- ◎⑪ 食関連企業誘致DVD制作事業費 4,762千円(5,000千円)
 - ・本市への立地が進む食品関連業種をターゲットにした企業誘致を推進するため、本市の特徴や企業立地の優位性をPRするためのDVDを委託により制作

- ⑫ 小樽国際インフォメーションセンター事業費 10,000千円(10,000千円)
 - ・運河プラザにおいて、外国語対応が可能な観光案内の総合窓口を開設

- ◎⑬ 地域資源を生かした小樽観光の魅力アップ事業費 8,440千円(8,454千円)
 - ・祝津地区で獲れる新鮮な魚介類など「食」を基軸に、「地域再生マネージャー」をコーディネーターに迎え新たな観光ビジネスモデルを構築

- ◎⑭ ㈱小樽観光振興公社出資金 130,000千円(130,000千円)
 - ・小樽観光振興公社の観光船「オタモイ号」「祝津号」(ともに昭和51年新造)の老朽化に伴う新造船を目的とした増資に対する出資

- ◎⑮ 国内外観光客誘致実行委員会補助金 3,000千円(3,000千円)
 - ・香港での観光説明会の開催やエージェント訪問、首都圏でのエージェント説明会の開催、札幌市での誘客キャンペーンなどの観光プロモーションを実施する実行委員会に対し補助

- ☆⑯ 東アジア圏等観光客誘致広域連携事業費補助金 1,500千円(5,000千円)
 - ・タイからの観光客誘致を進めるための現地プロモーション、札幌市などと連携し台湾・タイなどのメディア関係者を招へいする事業を実施

- ⑰ 小樽ショートフィルムセッション開催補助金 1,300千円(1,300千円)
 - ・フィルムコミッション活動の活性化や市内でのロケ活動の市民理解と周知を図ることを目的として、小樽をテーマとしたショートフィルムコンテストと初心者向け映像制作講習会を開催(平成21年度、23年度に続き3回目)

- ◎⑱ 小樽kawaiiティーパーティー実行委員会補助金 350千円(350千円)
 - ・本市観光の新たな魅力づくりを図るため、女性層をターゲットに、国内のみならず欧米にも広がる「kawaii(カワイイ)」をキーワードとしたイベントを開催

- ⑲ 環日本海クルーズ推進事業費 1,089千円(1,820千円)
 - ・日本海側拠点港に選定された小樽港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港と、秋田県の3港(秋田港・船川港・能代港)が連携してクルーズ客船の誘致活動や情報収集等を実施

- ◎⑳ 小樽港クルーズ推進事業費 5,662千円(5,872千円)
 - ・小樽港へのクルーズ客船の更なる寄港促進を図るため、市や民間等からなる協議会を設立し、小樽・北後志観光をPRするセミナーの開催など、クルーズ客船の誘致活動や受入体制を強化

- Ⅱ 第3号ふ頭岸壁改良事業費 37,741(81,648千円)
 - ・老朽化したエプロン舗装の改良による施設の延命化及びクルーズ客船に対応するための係船柱などの改良による機能強化
 - ・13~14番岸壁 係船柱3基、エプロン舗装A=411㎡、案内掲示板1基ほか

- Ⅱ 岸壁附帯施設改修事業費 143,961千円(150,563千円)
 - ・老朽化したエプロン舗装の改良による施設の延命化及び大型クルーズ客船に対応するための係船柱などの改良による機能強化

- ・勝納ふ頭2・3番岸壁 係船柱4基、防舷材20箇所、エプロン舗装A=5,947㎡、案内掲示板1基ほか
(事業費のうち99,245千円(100,600千円)は平成24年度から繰越)

◎ 港内泊地しゅんせつ事業費 5,166千円(8,976千円)

- ・土砂などの堆積により浅くなった岸壁前面の泊地の必要な水深確保のためのしゅんせつ
- ・勝納ふ頭2・3番岸壁前面泊地 掘削量V=1,280m³

□ 国直轄工事費負担金(北防波堤改良事業費) 26,522千円(45,000千円)

- ・老朽化した防波堤の改良による施設の延命化
平成24年度まで 調査・設計、漁業補償、根固工(L=452m/港外)、被覆工(L=32m/港外、L=586m/港内)
平成25年度 根固工(L=98.9m/港外)
※国直轄事業 平成25年度全体工事費 172,000千円
(うち市負担 1.5/10=25,800千円、前年度清算追徴金722千円)

□ 雇用創出・対策事業 92,773千円(99,408千円)

- ・海岸不法投棄監視及び環境保全事業費 9,849千円(10,000千円)
海岸の景観保持及び漁業被害の防止を図るため、海岸線の不法投棄監視及び漂着物等の回収、運搬、処理を委託により実施し、環境保全事業に適した人材の発掘と当該事業に精通した人材を育成
- ・潜在的保育士等掘り起こし事業費 5,906千円(8,548千円)
保育所での児童の入所や特別保育実施に必要な保育士の確保を図るため、中長期間稼働していない潜在的保育士等に公立保育所での勤務を経験させ、復職を促す事業を実施
- ・新卒未就職者等の地元定着を目指した地域人材育成事業費<再掲>
14,971千円(15,000千円)
新卒未就職者等を定職に就かせ、地元定着させるため、事業所実習やビ

ジネスマナー研修等により市内企業が求める人材育成を委託により実施

- ・食関連企業誘致DVD制作事業費<再掲> 4,762千円(5,000千円)
本市への立地が進む食品関連業種をターゲットにした企業誘致を推進するため、本市の特徴や企業立地の優位性をPRするためのDVDを委託により制作
- ・滞在型観光推進事業費 3,508千円(4,587千円)
滞在型観光の推進を図るため、地域観光資源情報(食、イベント、観光施設等)や様々な魅力を堪能できる散策コースに関する情報の収集と、観光情報宣伝物や散策マップの作成・発行を委託により実施
- ・観光客動態調査事業費 2,800千円(2,865千円)
戦略的かつ中・長期的な観光施策を展開し、観光産業の活性化を図るため、国内外からの観光客の動態についてアンケート調査等を行い、市が雇用する職員が当該施策の基礎資料を作成
- ・観光広告プロモーション事業費 4,678千円(4,830千円)
道央圏や海外からの観光客誘致促進のため、新聞・雑誌等を活用した広告掲載、ブログ更新等を委託により実施
- ・小樽港クルーズ推進事業費<再掲>
(総事業費5,662千円(5,872千円)のうち) 1,851千円(2,061千円)
クルーズ振興による地域の経済成長と観光振興を図るため、市が雇用する職員が船社・旅行業者等への小樽港PRや情報収集、寄港地ツアー作成等を実施
- ・海水浴場・観光イベント等クリーンアップ事業費 1,974千円(1,974千円)
市内8海水浴場等と観光イベント「おたる潮まつり」会場を巡回しながら、散乱ごみの収集・集積を委託により実施
- ・市内一円砂箱補充事業費 966千円(1,000千円)
市民との協働による急坂路線を中心とした凍結路面对策を充実するため、市内一円に設置している砂箱への砂小袋補充を委託により実施

- ・ 於古発川店舗落雪対策事業費 613千円(650千円)
於古発川店舗(妙見市場)の屋根からの落雪による事故や側道の通行阻害を防止するため、屋根の雪降ろし及び側道の除排雪を委託により実施
- ・ 商店街情報発信 I C T利活用事業費 12,356千円(13,000千円)
商店街にデジタルサイネージ(電子看板)などを設置し、商店街情報のほか、行政・教育・防災・公共交通機関・ボランティアなどの情報を集約、発信する業務を委託により実施
- ・ 海外販路拡張支援事業費 15,994千円(15,994千円)
小樽商品の取引量の拡大を図るため、つながりのある海外企業と連携し、シンガポールと台湾で試飲・試食と商談会の開催を委託により実施
- ・ 北運河および周辺地域観光戦略プラン策定事業費 8,515千円(8,820千円)
北運河及び周辺地域の観光戦略プラン策定と、策定に係る現地調査やセミナー等の開催業務を委託により実施
- ・ 観光型商店街活性化モデル事業費 2,066千円(2,066千円)
空き店舗を活用した「商店街・観光案内所」の設置や、観光型ホームページの構築、道内外に向けたPR活動などを行い、商店街活性化のモデルづくりを委託により実施(平成25～26年度)
- ・ 小樽の街並み・景色を観光資源とした観光促進事業費 1,964千円(3,013千円)
現在所有している本市の観光画像データを刷新し、利用者ニーズに対応したデータベースを構築するほか、「小樽撮影ガイドブック」の作成などを委託により実施(平成25～26年度)

5. 自然とまちなみが調和し、環境にやさしいまち（環境保全）

- ① 北しりべし廃棄物処理広域連合負担金 1,269,971千円(1,269,971千円)
・ 北しりべし廃棄物処理広域連合(小樽市、積丹町、古平町、余市町、仁木町、赤井川村)によるごみ焼却施設及びリサイクルプラザの運営に要する経費
- ② 環境基本計画策定事業費 1,240千円(1,500千円)
・ 平成22年6月制定の「小樽市環境基本条例」の基本理念実現に向けた環境施策の具体化を図るため環境基本計画を策定(平成24～27年度)

- 平成24年度 基礎調査
- 平成25年度 基礎調査、市民アンケート、計画(素案)の検討
- 平成26年度 計画(案)を環境審議会へ諮問・答申、計画決定
- 平成27年度 計画の施行、公表

- ◎③ 廃棄物最終処分場延命化対策検討業務委託料 3,129千円(5,250千円)
一般会計1,430千円(2,399千円)、産業廃棄物処分事業特別会計1,699千円(2,851千円)
・ 現処分場の嵩(かさ)上げによる延命化の諸課題を検討
- ◎④ 旧寿原邸建物調査費 1,869千円(2,000千円)
・ 老朽化が進む旧寿原邸について、専門家による建物の現況調査を実施
- ⑤ 都市公園安全・安心事業費 84,443千円(88,200千円)
・ 老朽化した公園施設の更新やバリアフリー化を進め、公園利用者の安全・安心を確保
平成22年度 手宮公園トイレ増改築(バリアフリー化)等
平成24～25年度 いしやま公園ほかの木製遊具更新、
小樽公園(見晴し台ほか)の工事測量及び実施設計
(事業費のうち28,661千円(31,500千円)は平成24年度から繰越)

B【その他の施策】

- ◎① 議会音響設備改良経費 1,403千円(1,785千円)
・ 第2委員会室の音響設備改良
- ◎② 東京事務所移転経費 2,364千円(2,378千円)
・ 事務所規模の見直しによる経費縮減を図るため、北海道東京事務所が入居するビルへ移転(平成25年9月24日)
(移転先) 永田町ほっかいどうスクエア6階614号室
東京都千代田区永田町2-17-17

◎③ パスポート交付関係経費 1,763千円(1,900千円)

- ・平成25年4月1日付けで一般旅券の発給申請受理・交付に関する事務について北海道から権限移譲を受け、戸籍住民課に窓口を常設
- ・平成24年度まで週1日の移動窓口（北海道） → 平成25年度から週5日の常設窓口

◎④ 廃棄物事業所建設事業費 37,023千円(41,498千円)

- ・築46年を経過し老朽化の著しい廃棄物事業所（天神）を旧小樽市リサイクルセンター跡地に新築移転

⑤ 参議院議員通常選挙費 38,479千円(47,000千円)

- ・平成25年7月21日に執行した参議院議員通常選挙に要した経費

⑥ 市独自の雇用対策 3,553千円(3,624千円)

- 厳しい雇用情勢にかんがみ、市独自の雇用対策事業を以下のとおり実施
- ・海水浴場・観光イベント等クリーンアップ事業費<再掲>1,974千円(1,974千円)
- ・市内一円砂箱補充事業費<再掲> 966千円(1,000千円)
- ・於古発川店舗落雪対策事業費<再掲> 613千円(650千円)

⑦ 緊急雇用創出推進事業 89,220千円(95,784千円)

雇用失業情勢が厳しい中で、介護、医療、農林水産、環境・エネルギー、観光等成長分野として期待されている分野における新たな雇用機会を創出するとともに、地域ニーズに応じた人材を育成し雇用に結びつけるため、「重点分野雇用創造事業」を実施。また、地域に根差した事業の起業等を支援し、失業者の雇用の場を確保するため、平成25年度から「起業支援型地域雇用創造事業」を実施。（両事業とも国が北海道に対して交付金を交付し、北海道が造成した基金を活用）

□重点分野雇用創造事業 48,325千円(52,891千円)

- ・海岸不法投棄監視及び環境保全事業費<再掲> 9,849千円(10,000千円)
- ・潜在的保育士等掘り起こし事業費<再掲> 5,906千円(8,548千円)

・新卒未就職者等の地元定着を目指した地域人材育成事業費<再掲>

14,971千円(15,000千円)

- ・食関連企業誘致DVD制作事業費<再掲> 4,762千円(5,000千円)
- ・滞在型観光推進事業費<再掲> 3,508千円(4,587千円)
- ・観光客動態調査事業費<再掲> 2,800千円(2,865千円)
- ・観光広告プロモーション事業費<再掲> 4,678千円(4,830千円)
- ・小樽港クルーズ推進事業費<再掲>

(総事業費5,662千円(5,872千円)のうち)1,851千円(2,061千円)

□起業支援型地域雇用創造事業 40,895千円(42,893千円)

- ・商店街情報発信ICT利活用事業費<再掲> 12,356千円(13,000千円)
- ・海外販路拡張支援事業費<再掲> 15,994千円(15,994千円)
- ・北運河および周辺地域観光戦略プラン策定事業費<再掲>

8,515千円(8,820千円)

- ・観光型商店街活性化モデル事業費<再掲> 2,066千円(2,066千円)
- ・小樽の街並み・景色を観光資源とした観光促進事業費<再掲>

1,964千円(3,013千円)

⑧ 地域経済活性化等推進資金基金活用事業 15,399千円(19,316千円)

- ・平成21年度の地方交付税において、新たに「地域雇用創出推進費」が創設され、本市に交付された279,000千円のうち、261,000千円を基金に積み立て、地域の雇用維持・創出及び地域経済の活性化に資する事業に活用することとし、平成25年度は以下の事業を実施

- ・高校生就職スキルアップ支援事業費<再掲> 1,260千円(1,260千円)
- ・東アジア等販路拡大支援事業費<再掲> 510千円(3,050千円)
- ・小樽ブランド力推進事業費<再掲> 6,993千円(6,993千円)

(うち基金充当額5,693千円)

- ・にぎわう商店街づくり支援事業費<再掲> 3,600千円(4,093千円)
- ・地場産品導入促進事業費<再掲> 1,947千円(2,100千円)

(うち基金充当額977千円)

- ・環日本海クルーズ推進事業費<再掲> 1,089千円(1,820千円)

C【国の経済対策関連事業】

① 地域の元気臨時交付金関連 交付金額 675,623千円

「日本経済再生に向けた緊急経済対策」(平成25年1月11日閣議決定)で追加された公共投資の実施に伴う地方負担の軽減を図り、経済対策の迅速かつ円滑な実施ができるよう、国の平成24年度補正予算(第1号)に計上された公共事業等の地方負担額を基礎として「地域の元気臨時交付金」が交付され、以下の事業に活用

【金額は交付金充当額、括弧内[]の金額は事業費】

- ・地域の元気臨時資金基金積立金 357,067千円[357,067千円]
- ・大気汚染監視測定機器整備事業費 3,297千円[3,297千円]
- ・廃棄物事業所建設事業費 36,724千円[37,023千円]
- ・校舎等改築事業費(手宮地区統合小学校) 53,235千円[341,210千円]
- ・下水道事業会計築造工事単独事業費(繰出金) 51,000千円[51,580千円]
- ・市営住宅改善事業費(繰出金) 174,300千円[376,525千円]

② 国の補正予算関連

「好循環実現のための経済対策」(平成25年12月5日閣議決定)を実施するため、国の平成25年度補正予算(第1号)で追加措置された緊急消防援助隊設備整備費補助金について、以下の事業に活用

- ・消防救急無線デジタル化事業費 一千円(78,058千円)
(全額を平成26年度に繰越)